

## 通期の見通し

### ■ 緩やかな景気回復を期待

国内では、新型コロナウイルスの変異株による感染拡大や度重なる緊急事態宣言による経済活動への影響の懸念等もありますが、今後、ワクチンの接種が広がることによって緩やかに景気が回復してくることが期待されます。

このような経済状況のもとで、今年度はデジタル庁が設置され、各種優遇税制・補助金・助成金の後押しもあり、業務の効率化や競争力の強化を目的とした企業のデジタル化がさらに前進しIT投資が進むことが期待されます。

### ■ お客様のデジタル化やIT活用を支援

以上のような国内の経済状況やIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループではコロナ禍でもお客様との接点を増加させるため、引き続きお客様への訪問を伴わない営業活動やサポート活動を可能とする体制の強化を図ります。

これにより訪問に制約がある中でも、ITを活用したオンラインによるデモンストレーション・セミナー等に力を入れ、具体的で分かりやすい説明を行い需要の喚起に努めてまいります。また、お客様のデジタル化やIT活用を支援し、自らAI等の技術を活用して中小規模のお客様の事業継続や市場競争力の強化に繋がるようDXの基礎づくりをサポートしてまいります。具体的には、引き続き営業活動やサポート活動を支援する各センターやお客様マイページ\*の充実に力を入れ、特に今年度はドキュメントの電子化や契約の電子化の需要を掘り起こし、関連機器・ソフトウェア・ネットワーク・セキュリティ等の機能を組み合わせた提案で、お客様のドキュメントのライフサイクルを通してデジタル化に向けた環境の導入を支援してまいります。また、お客様からの受注量拡大に対応するため、首都圏における第三の物流拠点として、横浜ベイエリアに大型物流センターを本年10月に開設の予定です。

※お客様マイページ=多くのお客様に便利なサービスをご提供することでお客様に寄り添い、Webでお客様との関係創りを進めるお客様ポータルサイトのこと。

## ■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、安全で効率的な営業活動を行いつつ、ドキュメントの電子化などコロナ禍での対応や生産性向上・コスト削減のニーズの掘り起こしを図ってまいります。また、お客様のデジタル化を進めるため、お客様に寄り添い、引き続き当社グループの強みである幅広い取扱い商材を活かした付加価値の高い提案を行います。

サービス&サポート事業では、「たのめーる」の競争力の強化に努め市場の拡大を図り、「たよれーる」の利便性を高め、コロナ禍でもお客様が安心して安全に事業活動を継続するためのサービス、お客様のIT人材不足を補完できるようなサービスの開発に努め、着実に売上高の増加に繋げてまいります。

## ■通期の業績予想

通期の連結業績予想は、8月2日に開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、年初の業績予想を上方修正し、以下となります。

売上高8,810億円(前年同期比5.3%増)、営業利益593億円(前年同期比5.3%増)、経常利益607億円(前年同期比5.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益415億円(前年同期比5.6%増)。

セグメント別売上高、システムインテグレーション事業5,520億円(前年同期比4.8%増)、サービス&サポート事業3,290億円(前年同期比6.2%増)。

売上高・利益計画

(単位：百万円)

	2020年 12月期	2021年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	836,323	881,000	+5.3%
営業利益	56,309	59,300	+5.3%
経常利益	57,550	60,700	+5.5%
純利益*	39,309	41,500	+5.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高計画

(単位：百万円)

	2020年 12月期	2021年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	526,613	552,000	+4.8%
サービス&サポート事業	309,710	329,000	+6.2%